

一般質問日程 3月4日(月)

令和6年2月定例会

発言 順序	議席 番号	発言者氏名	質 問 事 項
1	9	高見尚希	<p>1. 「NIKKO RUN2024」について</p> <p>(1) 参加者数の数値目標について</p> <p>6月9日(日)、第一回NIKKO RUN2024の開催にあたり、「1,000人ほどの参加者を見込んでいる」との報道がありましたが、参加者数については、成功と評価できる数値目標を設定され、取り組まれているのか伺います。</p> <p>(2) 市民の参加を促すための周知や催事について</p> <p>現在、エントリー受付が開始されておりますが、ランナー以外の市民認知度がたいへん低いと感じます。開催まで3ヶ月となる中、市民の参加を促す工夫が必要であると考えますが、効果的な周知、会場での催事などを計画されているのか伺います。</p> <p>(3) 市内小中学生の参加について</p> <p>NIKKO RUNは、市内小中学生が、マラソンにふれ、体力づくりのきっかけになる、よい機会であると思います。そこで、無料か、少ない参加費でエントリーできるようにならないのか伺います。</p> <p>2. 体育施設の修繕とふるさと日光応援寄附金の活用について</p> <p>(1) 市内体育施設の修繕、備品等の補充について</p> <p>体育館には、止まったままの大きな時計があり、日光霧降スケートセンターでは、朽ちた看板、抜け落ちたままの天井があるなど、体育施設で修繕や撤去が必要だと思う箇所があり、数年来、変わらぬ状態であります。利用者が目のあたりにすると、「日光市には、お金がないから…」と諦めの言葉が聞かれますが、直してほしい、撤去すべき、直すべきとの声があります。また、各種運動に必要な備品が、十分と言えない状況であります。体育施設の修繕、備品等の補充についての考えや計画について伺います。</p>

開始時刻 1人目：午前10時 3人目：午後1時 5人目：午後2時50分(目安)

一 般 質 問 日 程 3 月 4 日 (月)

令和6年2月定例会

発 言 順 序	議 席 番 号	発 言 者 氏 名	質 問 事 項
1	9	高 見 尚 希	<p>(2) ふるさと日光応援寄附金の活用について</p> <p>ふるさと日光応援寄附金では、寄附者に活用希望事業を指定していただいています。「教育、文化、スポーツの振興に関する事業」、「防災、公共施設の整備に関する事業」を指定し寄附をされた方にとっては、体育施設(避難場所)の修繕や備品の補充などへ使うことで寄附の意思に沿ったものになります。寄附者の気持ちに寄り添うためにもしっかり使い、目に見えるように活用していくべきと考えますが、市の考えとこれまでの活用実績、令和6年度の活用先について伺います。</p>
2	11	斎 藤 久 幸	<p>1. 藤原地域以北の公共交通について</p> <p>(1) 藤原地域以北の公共交通について</p> <p>藤原地域以北の公共交通の運行については、「野岩鉄道会津鬼怒川線」・日光交通株式会社が運行する「湯西川線」・市営バスの「鬼怒川温泉女夫淵線」の3路線が運行されているが市民からは、発車の時刻が同じ時間帯になっていたり、市営バスについては、一部区間については、乗降をさせてくれない区間があるため、どうにかならないのかといった声があるため、3者で協議をし、より良い市民のための公共交通を築くべきと考えるが、市の見解を伺う。</p> <p>2. 小・中学校の修学旅行について</p> <p>(1) 小学生の修学旅行について</p> <p>小学校の小規模校においては、修学旅行費用の保護者の負担が大きく、ましてや物価高騰により、生活も苦しいため、せめて交通費の半額の負担をしていただけないかと声がある。そこで、日光市内の小学校の交通費の半額を負担しては、どうかと思うが、市の見解を伺う。</p>

開始時刻 1人目：午前10時 3人目：午後1時 5人目：午後2時50分(目安)

一 般 質 問 日 程 3 月 4 日 (月)

令和6年2月定例会

発言 順序	議席 番号	発言者氏名	質 問 事 項
2	11	斎 藤 久 幸	<p>(2) 中学生の修学旅行について</p> <p>9月定例会において、「広島平和記念式典」への中学生の派遣について質問を行ったが、一部の生徒しか参加できないので派遣事業は行わないとの答弁であった。そこで、修学旅行の一部に「広島県」を追加し、修学旅行を実施してはどうかと思うが市の見解を伺う。</p> <p>3. 小水力発電について</p> <p>(1) 小水力発電について</p> <p>2016年に小水力発電の普及のため、日光市と今市工業高校は、実績のある企業2社と連携協定を結び小水力発電を軸とした再生可能エネルギーの研究を進め、電力の地産地消を目指すとのことであったが、次のことについて伺う。</p> <p>①現状と課題について</p> <p>②今後の展開について</p>
3	10	荒 川 礼 子	<p>1. 認知症対策について</p> <p>(1) 認知症になっても安心して暮らせるまちづくり条例について</p> <p>認知症の人が尊厳を持ち希望を持って暮らす事が出来るよう、施策を総合的かつ計画的に推進する「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」が令和6年1月1日に施行されました。2025年には、高齢者の5人に1人が認知症患者になると言われていますが、少子高齢化が急速に進む中、高齢化率の高い本市においては、市民全体に占める割合は更なるものと考えます。</p> <p>認知症になっても尊厳を持ち、安心して暮らせるまちづくりのために、認知症に対する正しい理解、そして、周りの接し方や、家族の方への支援など、お互</p>

開始時刻 1人目：午前10時 3人目：午後1時 5人目：午後2時50分（目安）

一 般 質 問 日 程 3 月 4 日 (月)

令和6年2月定例会

発 言 順 序	議 席 番 号	発 言 者 氏 名	質 問 事 項
3	10	荒 川 礼 子	<p>いに支え合えるまちづくりのために、認知症になっても安心して暮らせるまちづくり条例の制定が必要と考えますが市の考えを伺います。</p> <p>2. これからのまちづくりについて</p> <p>(1) 若者・女性の声を活かすまちづくりについて</p> <p>本年1月11日付けの下野新聞に、厚生労働省の国立社会保障・人口問題研究所の地域別将来推計人口が発表され、日光市は、2020年での高齢化率は36.1% 2050年には、人口が約4割減の43,723人、高齢化率49.4%との数字が示されておりました。第2期日光市まち・ひと・しごと創生総合戦略では、現在の傾向が続くと仮定した場合2050年では、39,265人、高齢化率は50%を超えると、さらに厳しい推計を出しております。あと約25年後には市全体で、2人に1人が高齢者となるわけです。戦略の中では、人口減少のスピードを抑制することを最大の目標として掲げ具体的な取組みをされているとは思いますが、持続可能な日光市のためには、少子化対策、若年世代の減少が非常に大きな課題となっています。そこでこれからのまちづくりのために、もっと若者や、女性の考え、声をしっかり政策に反映できる機会をつくることが重要だと捉えますが市の考えを伺います。</p> <p>3. 視覚障がい者の支援について</p> <p>(1) 視覚障がい者の情報取得について</p> <p>全ての障がい者が、障がいの有無によって分け隔てられることのない社会を目指し障がい者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法が2022年5月に施行されましたが、今でも視覚障がい者にとっては、情報の取得や利用には多くの苦勞</p>

開始時刻 1人目：午前10時 3人目：午後1時 5人目：午後2時50分（目安）

一 般 質 問 日 程 3 月 4 日 (月)

令和6年2月定例会

発 言 順 序	議 席 番 号	発 言 者 氏 名	質 問 事 項
3	10	荒 川 礼 子	<p>があります。「視覚障がいのある方は必ずしも点字を読めるわけではなく、多くの方は、主に音声や拡大文字によって情報を得ています。文字情報を音声にする方法は、補助者による代読や、パソコンの音声読み上げソフトを用いる方法のほか、文字内容をコード情報（音声コード）に変換して活字文書読上装置を使って音声化する方法があります」と内閣府のホームページにも記載されております。そこで、市から送付される公的な通知文書などにこの「音声コード」の普及を進めるべきと考えますが、見解を伺います。</p> <p>(2) 視覚障がい者の移動支援について</p> <p style="padding-left: 2em;">視覚障がい者の方への移動支援として福祉タクシー券の活用があると思いますが、利用状況について伺います。</p>
4	5	齊 藤 正 三	<p>1. 奨学金貸付制度について</p> <p>(1) 奨学金貸付制度事業内容について</p> <p style="padding-left: 2em;">日光市の奨学金制度は、教育の機会均等を図るため能力があるにもかかわらず、経済的理由により就学困難な方に対して、奨学金の貸付けを行っています。</p> <p style="padding-left: 2em;">償還については貸付期間の3倍に相当する期間内に償還しなければなりません。返済が滞ってしまうなど様々な諸事情により、滞納者の増加も懸念される所です。</p> <p style="padding-left: 2em;">奨学金貸付状況の5年間の推移と今後の見通し、また滞納状況そして滞納対策マニュアルについて伺います。</p> <p>(2) 奨学金償還免除制度内容について</p> <p style="padding-left: 2em;">日光市奨学金制度では返還を支援する制度として奨学金償還免除制度があります。この制度は学校を</p>

開始時刻 1人目：午前10時 3人目：午後1時 5人目：午後2時50分（目安）

一 般 質 問 日 程 3 月 4 日 (月)

令和6年2月定例会

発 言 順 序	議 席 番 号	発 言 者 氏 名	質 問 事 項
4	5	齊 藤 正 三	<p>卒業後に一定期間日光市に住所を定め、引き続き5年間定住して就労する方に対し、奨学金償還の一部を免除する制度です。</p> <p>この制度が始まってからの実績と評価について伺います。</p>
5	6	山 越 享 太 郎	<p>1. 兼業・副業について</p> <p>(1) 兼業・副業について</p> <p>公務員の兼業、副業については、国家公務員法及び地方公務員法に関連する規定が存在します。その中で、公務の能率の確保、職務の公正の確保、職員の品位の保持等の為、許可制が採用されています。</p> <p>人口減少や人手不足がより深刻になれば、地方公務員の兼業、副業の緩和は必要になります。</p> <p>日光市では職員の兼業、副業について、どのように考えているのかお伺い致します。</p> <p>①現状について</p> <p>②今後について</p> <p>2. 公共施設について</p> <p>(1) 丸山公園について</p> <p>丸山公園サッカー場は人工芝が敷かれており、小学生から大人まで幅広く利用されています。ナイター設備もLEDに変わり、ものすごく明るくなったとの声をよく聞きます。</p> <p>県内にも、人工芝のグラウンドはいくつかあり、民間が保有しているものから、行政が管理している所など、様々です。そこでお伺いいたします。</p> <p>①現在の料金体系について</p> <p>②今後について</p>

開始時刻 1人目：午前10時 3人目：午後1時 5人目：午後2時50分（目安）